

## II 年間指導計画

本校のめざす学校像

- ・特色ある魅力的な学校
- ・生き生きとした学校
- ・潤いのある学校
- ・いのち輝く学校

学校教育目標

いのち輝き 個が光る 夢と躍動感に満ちた 太田っ子の育成

育てたい児童像

- ・命を大切にする子
- ・がんばりぬく子
- ・思いやりのある子
- ・勉強する子

いじめ対応チーム：校長 教頭 生活指導担当 主幹教諭 養護教諭  
\*状況に応じて関係職員等も含めて編成

《年間指導計画》

月	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	職員会 ※1	学級経営計画の作成	地区児童会①
	生活指導部会 ※2	1年生を迎える会	地区児童会②
	教育支援委員会 ※3		
5月	「みつめる」発行 ※4	なかよしタイム ※5 運動会赤白競技 (運動会)	
6月	小中連絡会	なかよしタイム	いじめアンケート①
7月	「みつめる」発行	情報モラル教育① 校区巡回指導 なかよしタイム	校外地区児童会 個別懇談会
8月	職員研修 幼小連絡会	校区巡回指導 カウンセリングマインド研修 ※6	
9月	職員会議	なかよしタイム (修学旅行・自然学校)	地区児童会③
	生活指導委員会		
10月		情報モラル教育②	
11月		第2回児童集会 なかよしタイム	いじめアンケート②
12月	「みつめる」発行	なかよしタイム	地区児童会④
1月	学校評価結果の検証	なかよしタイム	生活実態アンケート 地区児童会⑤ 学校評価
2月	「みつめる」発行	情報モラル教育③ なかよしタイム	いじめアンケート③ ※7
3月	認定職員会議 幼小・小中連絡会	6年生を送る会	地区児童会⑥

未然防止、早期発見に向けて

- すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。
- いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。
- 各個人の様子を日常的に情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会等を取り上げて共通理解を図る。
- 各担任や生活指導担当が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校体で組織的に対応する。

～危機管理の要諦より～  
迅速性  
柔軟性  
応変性

※1 職員会議  
いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。

※2 生活指導部会(毎月実施)  
学級や地区での友達間のトラブルや問題行動等について共通理解や対応を協議し、児童の安心安全な生活の維持に努める。

※3 学校支援委員会(毎月実施)  
発達に課題を抱える児童の状況や不登校傾向の児童について共通理解を図るとともに適切な対応について意見交換を行う。

※4 「みつめる」発行  
教室での学習の様子や遊び時間・掃除時間、地区での生活の様子など気になることについて、情報交換と共通理解を図るために随時発行する。

※5 なかよしタイム(異年齢縦割り班遊び)  
全校児童を70班の異年齢集団で構成し、児童の主体性を生かした遊びを行い交流を図る。

※6 カウンセリングマインド研修  
ロールプレイ等、研修の実施の仕方を工夫するなど効果的な研修を実施する。

※7 いじめアンケート  
各学期に1回、いじめの実態把握アンケートを実施する。